# 様式第１号（第１０条）動物実験計画申請書

青字は申請時に削除

（公財）鳥取県産業振興機構　動物実験計画申請書

年　　月　　日

(公財)鳥取県産業振興機構　代表理事理事長　様

動物実験責任者

所属

職名

氏名

とっとりバイオフロンティア動物実験規則第１０条の規定に基づき、下記の実験計画（新規・変更・更新）の承認について申請します。

(公財)鳥取県産業振興機構 動物実験計画書

（公財）鳥取県産業振興機構 代表理事理事長　様

□ 新規 □ 変更　　□更新

※従事者の追加変更などの軽微な変更は「様式第２号動物実験計画（変更・追加）承認申請書」で申請できます

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 提出年月日 | 年　　　月　　　日 | 受付年月日 | 年　　　月　　　日 | 受付番号 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研　究 目 的 |  | | | |
| 動物実験責任者名  （選択項目を■） | 名前（フリガナ） | 部局名・連絡先 | 職 名 | 教育訓練受講 |
| （　　　　　　　　　　） | 所属名: |  | □有　　□無 |
| e-mail： | 連絡先TEL: |
| 動物実験実施者名  （括弧内にフリガナ、選択項目を■） | （　　　　　　　　　） | 所属名: |  | □有　　□無 |
| e-mail： | 連絡先TEL: |
| （　　　　　　　　　） | 所属名： |  | □有　　□無 |
| e-mail： | 連絡先TEL: |
| （　　　　　　　　　） | 所属名: |  | □有　　□無 |
| e-mail： | 連絡先TEL: |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験実施期間 | 承認後 ～ 20( 年) 月　日  （※３年以内） | | | 中止・終了 | 20( 年) 月　　日（ | |
| 飼養保管施設  　及び実験室  （該当項目をすべて■） | 飼養保管施設 | □ | 321 | 実験室 | □ | 1階オープンラボ |
| □ | 322 | □ | ２階細胞実験室 |
| □ | 323 | □ | ２階遺伝子実験室 |
| □ | 324 | □ | ２階機器分析室 |
| □ | その他  (具体的に記入：　　) | □ | 311 |
| □ | 312 |
| □ | 313 |
| □ | 314 |
| □ | その他（具体的に記入：　　　　） |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 使 用 動 物 | 動 物 種 | 系 統 | 性 別 | 匹 数 | 微生物学的品質 | 入手先  （導入機関名） | 備 考 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

* 系統：系統名または品種名は、マウスの場合はBALB/c、ddY、等；ラットの場合はWistar、SD、等記入してください。

遺伝子改変動物の場合は、親系統を記入するのではなく、遺伝子改変動物と分かる表記として下さい。

* 性別：性別を区別しない場合には、一行に「雌雄」「♂♀」と記入してください。

区別する必要がある場合には、二行に分け、匹数を別々に記載してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究計画と方法 | 実験方法（動物に加える処置、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。）   * 研究計画が複数の動物実験に分かれる場合、それぞれについて見出しを付けて、実験内容と実験処置を行う部位、方法、安楽死させるまでの過程を記述します。安楽死後の実験方法を詳述する必要はありません。 * 実験内容は時系列に沿って具体的に記述します。同じ処置であっても、苦痛の軽減措置、人道的エンドポイントの設定により「想定される苦痛のカテゴリー」は変わるためです。 * 想定される苦痛のカテゴリーを（）書きし、特に苦痛のカテゴリーがＤ以上の場合は、苦痛の軽減法や人道的エンドポイントについても明示してください。 | | | | |
| 実験全体で使用する動物の算出根拠： | | | | |
| 特殊実験区分  （該当項目をすべて■） | □ | 1.感染実験　安全度分類：　□ BSL1 　□ BSL2　 □ BSL3 | | | |
| □ | 2.遺伝子組換え動物使用実験　区分： □ P1A □ P2A　 □ P3A  遺伝子組換え実験計画承認：　□ 申請中 □ 承認済み（承認番号：　　　 　） | | | |
| □ | 3.放射性同位元素・放射線使用実験 | | | |
| □ | 4.化学発癌・重金属実験 | | | |
| 動物実験の種類  （選択項目を■） | □ | 1．試験・研究 | 動物実験を  必要とする理由  （選択項目を■） | □ | 1.検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 |
| □ | 2. 教育・訓練 | □ | 2.検討した代替手段の精度が不十分だった。 |
| □ | 3．その他（　　　　　） | □ | 3.その他 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 想定される  苦痛のカテゴリー  （選択項目を■） | □ | B.脊椎動物を用い、動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 |
| □ | C.脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 |
| □ | D.脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 |
| □ | E.無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。 |
| 動物の苦痛軽減、排除の方法  (該当項目をすべて■) | □ | 1.短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 |
| □ | 2.科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 |
| □ | 3.麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。  （具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　） |
| □ | 4.動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 |
| □ | 5.その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 安楽死の方法  （該当項目をすべて■） | □ | 1.麻酔薬等の使用  （具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| □ | 2.炭酸ガス |
| □ | 3.中枢破壊（具体的に記入：　　　　　　　　　　　法） |
| □ | 4.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 動物死体の  処理方法  （選択項目を■） | □ | 1.外部業者に依託 |
| □ | 2.その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他特記事項 |  | |

|  |  |
| --- | --- |
| 委員会記入欄 | 審査終了：20( 　)年　　　月　　　日 |
| 修正意見等 |
| 審査結果　□　本実験計画は、(公財)鳥取県産業振興機構における動物実験規則等に適合する。  　　　　　　　（条件等　□　遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。）   * 本実験計画は、(公財)鳥取県産業振興機構における動物実験規則等に適合しない。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 理事長承認欄 | 承認：20( 　 )年　　　月　　　日 |
| 本実験計画を承認します。  　　承認番号：　第　　　　　　　　　　　　 　　号  　　　　　　　　　　　　　公益財団法人鳥取県産業振興機構　代表理事理事長 |